

別紙1

平成 24 年度

事業報告書

社会福祉法人 鷗川慶寿会

目 次

1	社会福祉法人鵠川慶寿会総括事業報告	1
2	法人本部事業報告	2
(1)	事業経過報告	2
(2)	評議員の退任及び就任	3
(3)	職員採用及び退職者	3
(4)	理事会開催状況	4
(5)	評議員会開催状況	5
(6)	監事監査の実施状況	6
3	胆振東部鵠川慶寿苑事業報告	7
(1)	事業内容報告	7
(2)	管理職会議・運営会議開催報告	10
(3)	研修会・会議の参加状況報告	11
(4)	防災体制と危機管理体制	12
(5)	苦情処理状況	12
(6)	主な施設整備状況	13
(7)	利用者の構成とその状況	13
(8)	在宅サービスの状況	16
(9)	ボランティアの受入状況	17
(10)	実習生等の受け入れと福祉教育	18
4	高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告	19
(1)	高齢者共同生活住宅こごみ荘	19
(2)	交流広場	21
(3)	高齢者グループホームふきのとう	22

1 社会福祉法人鵜川慶寿会総括事業報告

平成24年度は、むかわ町から高齢者生活交流センターひだまりの里の指定管理者として指定を受け実質的に運営がスタートした年となりました。

平成24年1月1日から運営が始まった高齢者共同生活住宅ごみ荘は、前年度に法人本部より運転資金として1,360,000円の繰り入れを行い初年度は3か月間で決算を行い、収支差額（繰越金）として1,273,219円を計上し、平成24年度がスタートしました。

平成24年度は、空室状態の長期化による利用料収入の減少に加え、今冬の厳しい冷え込みによる暖房用電気料の増加により赤字運営となりました。

平成24年4月1日から運営が始まった高齢者グループホームふきのとうは4月に5名、5月に3名、6月2日に1名が入居し定員9名を満たすことができました。

介護報酬を主財源とするが故3か月相当分程度の運転資金が必要となりますが、備品購入費、人件費を含め結果的に特養から15,000,000円の繰り入れを行いました。

定員を満たすまでの期間に加え、2件の骨折事故による入院が収入の減少に大きく影響を与えましたが、むかわ町より空室補償補助金として780,000円の交付決定を受けました。決算内容としては黒字を計上しておりますが、特養からの繰り入れを考えると想定内ではありますが、高齢者グループホームふきのとう同様に赤字運営ということになります。

平成25年度は、前年度の収支差額（繰越金）としての運転資金が確保されていますので、単年度収支の運営状況が決算に直結することから、安定的な運営の確保に向けた経費節減が必要となります。

特別養護老人ホーム胆振東部鵜川慶寿苑においては、グループホームふきのとうへの資金の繰り入れ、特殊浴槽設備の更新をはじめとする整備事業については、繰越金の充当にて実施いたしました。

平成24年度の収支差額マイナスは想定内のことですが、内容を精査しますと介護報酬改定が影響しています。介護報酬事態ではよく見えませんが、前年度までの介護職員処遇改善交付金は、介護報酬にサービスごとの交付率を掛けたものが交付金としてプラス要素となっていました。介護職員処遇改善加算となった平成24年度からは、サービスごとの交付率を掛けたものが介護報酬の中に含まれたことにより、介護報酬自体にはあまり変化がありません。実質的には介護職員処遇改善交付金分が収入減となったといえます。

法人全体で考えますと、資金の繰り入れは法人内の内部取引でありますから、直接資金が減少したことにはなりません。実質マイナスが計上された要因は整備事業に要した繰越金からの充当分がこれにあたります。

平成24年度は複数事業の展開後初めての決算を迎えましたが、ある意味想定内で収まったことは、順調なスタートを切ることができたといえます。

今後は、それぞれの事業所が安定的な運営を行い、収益を上げていくことが必要となります。また、職員のキャリアアップにより、適材適所への人員配置と人事異動を行いながら、組織の強化とレベルアップを図り、社会福祉法人として地域の高齢者福祉の拠点としての役割を果たします。

2 法人本部事業報告

(1) 事業経過報告

年月日	事業内容	摘要
H24. 4. 1	平成 24 年度辞令交付式(グループホームふきのとう)	理事長
H24. 4. 2	平成 24 年度辞令交付式(胆振東部鶴川慶寿苑)	理事長
	第三者委員委嘱(長谷川幸治氏、渋谷勝美氏、毛利敏子氏)	
H24. 4. 11	新任職員歓迎会並びに役職員合同交流会	四季の館
H24. 4. 16	いけまぜ夏フェス実行委員会 (産業会館)	山口、野宮、渡辺
H24. 5. 16	監事監査	鶴川慶寿苑(長谷川、真鍋)
H24. 5. 23	平成 24 年度第 1 回評議員会	むかわ町産業会館 2 階第 3 会議室
H24. 5. 23	平成 24 年度第 1 回理事会	むかわ町産業会館 2 階第 3 会議室
H24. 5. 24	資産総額の変更登記完了	
H24. 5. 28	いけまぜ夏フェス実行委員会 (産業会館)	山口、野宮、渡辺
H24. 5. 31	平成 23 年度事業報告書並びに収支決算書提出	むかわ町へ
H24. 6. 4	グループホーム開設者研修 4 日～6 日 (札幌)	山口
H24. 6. 8	グループホーム開設者研修施設実習 (ふきのとう)	山口
H24. 6. 21	特殊浴槽設備の更新に係る指名競争入札	胆振東部鶴川慶寿苑 (理事長、中島、北橋、長谷川、真鍋)
H24. 7. 17	いけまぜ夏フェス実行委員会 (産業会館)	山口、野宮、渡辺
H24. 7. 30	いけまぜ夏フェス実行委員会 (産業会館)	山口、野宮、渡辺
H24. 8. 3	いけまぜ夏フェス事前準備	山口、野宮、渡辺、神田、光成、田村
H24. 8. 4	いけまぜ夏フェス (5 日まで)	山口、野宮、渡辺、神田、光成、田村、所、藤田、吉田
H24. 8. 9	慶寿苑盆踊り	理事長、北橋、小金澤、中島、田中、長谷川、真鍋
H24. 9. 17	慶寿苑敬老会	理事長、小金澤、田中、長谷川、真鍋、渋谷、富士副町長、竹中議長、松田会長
H24. 11. 11	むかわ町社会福祉大会(四季の館)	山口
H24. 11. 15	監事監査	鶴川慶寿苑(長谷川、真鍋)
H24. 11. 20	平成 24 年度第 2 回理事会	鶴川慶寿苑サンルーム
H24. 11. 21	福井評議員へ委嘱書を交付	町社協穂別支所へ山口
H24. 12. 25	クリスマス会	理事長、中島、小金澤、田中、長谷川、真鍋、渋谷、毛利、山口町長、松田会長

年月日	事業内容	摘要
H24. 12. 28	年末挨拶(町、社協、厚生病院)	山口、野宮
H25. 1. 1	高齢者共同生活住宅「こごみ荘」へ新年会	山口、野宮、神田
H25. 1. 1	グループホーム「ふきのとう」へ新年の挨拶	山口
H25. 1. 6	新年交礼会(四季の館)	山口、野宮
H25. 1. 21	監事監査	鶴川慶寿苑(長谷川、真鍋)
H25. 1. 29	平成24年度第2回評議員会	むかわ町産業会館1階第1会議室
H25. 1. 29	平成24年度第3回理事会	むかわ町産業会館1階第1会議室
H25. 3. 15	平成24年度第三者委員会議	渋谷、長谷川、山口、野宮、高橋、山谷
H25. 3. 18	監事監査	鶴川慶寿苑(長谷川、真鍋)
H25. 3. 22	平成24年度第3回評議員会	むかわ町産業会館3階青年研修室
H25. 3. 22	平成24年度第4回理事会	むかわ町産業会館3階青年研修室

(2) 評議員の退任及び就任

退任：平成24年10月31日付 長谷川博章

就任：平成24年11月21日付 福井真由美

任期 平成25年12月18日まで

(3) 採用職員及び退職者

1. 採用

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑 14名

グループホームふきのとう 5名

2. 退職

特別養護老人ホーム胆振東部鶴川慶寿苑 14名

(4) 理事会開催状況

期日	会場	理事会	主 なる 議 題
24. 05. 23	むかわ町 産業会館 第3会議室	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事監査報告について ・ 人事関係報告について ・ 法人並びに施設運営状況報告について ・ 平成24年度事業に係る北海道共同募金会配分申請の審査結果について ・ 平成23年度北海道介護職員処遇改善実績報告について ・ 平成24年度北海道介護職員処遇改善加算届出に係る計画書の提出について ・ 北海道コココーラボトリング株式会社からのAED無償貸与について ・ 平成23年度社会福祉法人鶴川慶寿会事業報告書並びに収支決算報告について ・ 監事監査報告(決算) ・ 資産総額変更登記について ・ 特殊浴槽設備の更新について
24. 11. 20	鶴川慶寿苑	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人並びに施設の運営状況報告について ・ 整備事業の報告について ・ 理事長専決処分報告について ・ 人事関係報告について ・ 上半期予算執行状況報告について ・ 監事監査報告について ・ 評議員の辞任に伴う欠員の選任について
期日	会場	理事会	主 なる 議 題
25. 01. 29	むかわ町 産業会館 第1会議室	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人並びに施設の運営状況報告について ・ 整備事業の報告について ・ 理事長専決処分報告について ・ 人事関係報告について ・ 監事監査報告について ・ 就業規則の一部改正(案)について ・ 平成24年度第1回補正予算書(案)について

25. 03. 22	むかわ町 産業会館 青年研修室	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設の運営状況報告について ・人事関係報告について ・監事監査報告について ・給与規程の一部改正(案)について ・グループホームふきのとう利用者預り金管理規程の制定(案)、重要事項説明書の一部改正(案)及び運営規程の一部改正(案)について ・平成24年度第2回補正予算書(案)について ・平成25年度事業計画書(案)及び平成25年度収支予算書(案)について
------------	-----------------------	-----	--

(5) 評議員会開催状況

期日	会場	評議員会	監査実施項目
24. 05. 23	むかわ町 産業会館 第3会議室	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・監事監査報告について ・人事関係報告について ・法人並びに施設運営状況報告について ・平成24年度事業に係る北海道共同募金会配分申請の審査結果について ・平成23年度北海道介護職員処遇改善実績報告について ・平成24年度北海道介護職員処遇改善加算届出に係る計画書の提出について ・北海道ココラボトリング株式会社からのAED無償貸与について ・平成23年度社会福祉法人鶴川慶寿会事業報告書並びに収支決算報告について ・監事監査報告(決算) ・資産総額変更登記について
期日	会場	評議員会	監査実施項目
25. 01. 29	むかわ町 産業会館 第1会議室	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について ・法人並びに施設の運営状況報告について ・理事長専決処分報告について ・監事監査報告について ・就業規則の一部改正(案)について ・平成24年度第1回補正予算書(案)について

25. 03. 22	むかわ町 産業会館 青年研修室	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・法人並びに施設の運営状況報告について ・人事関係報告について ・監事監査報告について ・給与規程の一部改正(案)について ・グループホームふきのとう利用者預り金管理規程の制定(案)、重要事項説明書の一部改正(案)及び運営規程の一部改正(案)について ・平成24年度第2回補正予算書(案)について ・平成25年度事業計画書(案)及び平成25年度収支予算書(案)について
------------	-----------------------	-----	--

(6) 監事監査の実施状況

期日	会場	監査	監査実施項目
24. 05. 16	鶴川慶寿苑	第1回	諸規程、役員、予算、決算、資産管理、会計経理、理事会、施設管理、人事管理、利用者預り金
24. 11. 15	鶴川慶寿苑	第2回	資産管理、会計経理、理事会、施設管理、人事管理、利用者預り金、その他
25. 01. 21	鶴川慶寿苑	第3回	資産管理、会計経理、理事会、施設管理、人事管理、利用者預り金、その他
25. 03. 18	鶴川慶寿苑	第4回	予算、資産管理、会計経理、理事会、利用者預り金

3 胆振東部鷗川慶寿苑事業報告

平成24年度は施設整備計画に基づき、大きな事業として車椅子入浴装置の更新を行いました。

また、修繕関係では平成22年度に行われた特殊建築物（建築設備）定期調査の結果を踏まえ、排煙窓の開閉修繕、非常用照明のバッテリー交換、旧館ホール結露防止のガラス交換、旧館西側階段室・1階旧館男子トイレ天井の結露解消工事を行いました。

今後予定しておりました、屋上防水工事、建物外壁補修、建物内部の補修等につきましては、昨年北海道が公表した「発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす」最大クラスの津波に相当する浸水予想図により、防災対策上予定しておりました大規模修繕事業について見直し検討が必要となりました。将来的な改築の時期等を考えると、大きな修繕事業を行うか否かは慎重に協議する必要があります。また、耐用年数が到来した器具備品等の更新については、調理器具に重点をおき、食器棚・フードプロセッサー・包丁俎板殺菌庫・ガス立体炊飯器・業務用冷凍冷蔵庫の更新を行いました。

整備事業の財源としては、報酬改定による影響は避けられず単年度収支においての事業展開は困難を要しますので、繰越金を充当し整備事業を行いました。

昨年3月29日に施設内14時間研修を終了した21名の介護福祉士が、北海道知事より認定特定行為業務従事者認定証（経過措置・不特定多数の者対象）が交付され、口腔内の喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養（チューブの接続及び注入開始を除く）を行うことが出来るようになりました。また、昨年8月には特別養護老人ホーム胆振東部鷗川慶寿苑及び胆振東部鷗川慶寿苑短期入所生活介護事業所が、北海道知事より登録喀痰吸引事業者としての登録を受けました。

平成24年4月1日「介護サービスの基盤強化のための介護保険法の一部を改正する法律（社会福祉士及び介護福祉士関係）」が施行され、新たな研修体系として50時間の「介護職員等のたん吸引等研修」（不特定多数を対象とする研修）がスタートしました。

当施設におきましては、平成24年度に1名の介護福祉士がこの研修を受講し現在当施設において実地研修指導講師（指導看護師）の下に実地研修を行っています。

今年度は、更なる実技演習を重ね嘱託医、看護職員と連携を図りながら、14時間研修を終了し特定行為業務従事者認定証を受けた介護福祉士による口腔内の喀痰吸引が行えるように体制を整え、取り組んでまいります。

（1）事業内容報告

1. 各種会議の実施

管理職会議の開催	3回	サービス担当国会議の開催	107回
運営会議の開催	12回	調理員会議の開催	12回
全体会議の開催	13回	給食運営会議	12回
フローア・リーダー会議の開催	32回	個別訓練計画会議の開催	81回
グループ会議開催	60回	地域ケア会議への出席(役場)	24回
ケア会議の開催	12回		

2. 各委員会活動の実施

安全衛生委員会	12回	入居検討委員会	4回
研修委員会	12回	アクティビティサービス推進委員会	14回
事故・虐待・拘束防止委員会	26回	排泄・褥瘡検討委員会	13回
感染症対策委員会	14回	医療的ケア対策推進委員会	1回
広報・渉外委員会	14回		

3. 研修、学習事業の実施

(1) 施設内研修

新任職員研修	7回	22人	言葉使い（マナー）研修	6回	199人
学習研修会	5回	296人	口腔ケア研修（外部講師）	1回	10人
幹部職員研修	12回	78人	介護知識、技術等研修	1回	47人
リスク・虐待予防	2回	74人	震災対応研修	1回	53人

(2) 施設外研修

① 道社協、老施協等研究会等参加（74名）

(3) 自主研修

① 認知症介護実践者研修

平成24年 8月21日～ 2名

平成24年 9月12日 2名

4. 介護体制の確立と実践

(1) 利用者の理解と集団の現状分析

- ① 年齢や介護度、利用形態の把握
- ② 身体的障がいや認知症等の把握
- ③ 食事摂取に係る個別対応の連絡と把握
- ④ 利用者の行動障がいへの対応
- ⑤ クラブ活動、行事等への参加促進実施
- ⑥ 利用者の疾病等に対する対応
- ⑦ 生活習慣の個別差に対する対応
- ⑧ 認知症高齢者の日常生活自立度の把握

(2) 介護上の視点と展開

- ① 利用者と職員との日常的な関わりの充実
- ② 人権を尊重した利用者との関わり
- ③ 利用者の身体的状況の把握と疾病処置の充実
- ④ 身体拘束廃止、虐待防止へ向けた介護の取り組み
- ⑤ 事故予防、介護ミス予防の検討と取り組み
- ⑥ 生活の楽しみ、生きがいを見出せる取り組み
- ⑦ 認知症への取り組み
- ⑧ 褥瘡予防、治療への取り組み

⑨ 家庭復帰への援助、中途退所への援助

(3) 健康管理とリハビリ

① 健康管理

- ア) 利用者の身体的状況、精神的状況の把握
- イ) 利用者の体調の変化を捉え、早期発見、早期治療を図る
- ウ) 利用者の週1回の嘱託医による回診
- エ) 体調不良時、急変時の受診と治療
- オ) 利用者の年1回(9月)健康診断の実施
- カ) 新型インフルエンザ等感染症予防対策の実践

② 業務管理

- ア) 各種検査伝票の整理と医療処置の記録、コンピューターへの入力
- イ) 医療器具・薬品の管理
- ウ) 利用者の使用している薬剤の使用法の指導と管理

③ リハビリ

- ア) 利用者の身体的残存機能の保持
- イ) 利用者の身体的状況に応じた個別訓練
- ウ) 療育音楽、ゲーム等、気分転換と身体的な機能回復と保持
- エ) 離床時を利用したリハビリの確立
- オ) 各種クラブ活動の活用
- カ) アクティビティサービス推進委員会との連携

(4) 給食の取り組み

- ① 献立作成 ~ 利用者の身体的状況、嗜好、栄養バランスに配慮し作成
- ② 特別食の献立 ~ 病弱な利用者には、健康状態にあった食事の配慮
- ③ 調理方法の工夫 ~ 歯の悪い人、嚥下障がいのある利用者についての配慮
- ④ 行事食の実施 ~ 生活に変化をつけるため、各種祝いに行事食を実施
- ⑤ 選択食の実施 ~ 主菜、副菜に選択食を取り入れ、楽しめる食事の提供
- ⑥ 常食バイキング ~ 新たな取組みの実施、今後も継続
- ⑦ 嗜好を考慮した食事作り ~ 嗜好調査を行い献立に組み入れていく
- ⑧ 環境に配慮して食事の摂取 ~ 利用者個々のペースに合わせた食事時間の配慮、自助具の使用
- ⑨ 食堂の環境整備 ~ テーブルの配置、テーブルクロスの変化等楽しい雰囲気作り

5. 広報活動

- (1) こんにちは 1 2回
- (2) はまなす通信 3回
- (3) 家族通信 1 2回
- (4) そよ風通信 3か月に1回

(2) 管理職会議・運営会議開催報告

1. 管理職会議開催状況

期日	協議内容
24. 6. 21	職員処遇について
24. 9. 6	職員処遇について
24. 11. 30	目標管理制度の集計結果について (管理職評定、賞与支給率の検討、職員意向・提案内容について)

2. 運営会議開催状況

期日	協議内容	期日	協議内容
24. 4. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・5月行事予定について ・母の日プレゼントについて ・平成23年度研修予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	24. 11. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・12月行事予定について ・ボランティア団体等交流会について ・クリスマス会について ・喀痰吸引等実地研修について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
24. 5. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・6月行事予定について ・芸能大会について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	24. 12. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・1月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
24. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・7月行事予定について ・盆踊り日程について ・いけまぜ協力依頼について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	25. 1. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・2月行事予定について ・サービス自己評価について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
24. 7. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・8月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	25. 2. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・3月行事予定について ・新年度事業計画、予算策定について ・新任職員研修について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
24. 8. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・9月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 	25. 3. 4	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・4月行事予定について ・厳戒態勢解除時期について ・平成25年度体制について ・新年度事業計画、予算策定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議
24. 9. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・10月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 		
24. 10. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・研修（幹部職員研修） ・11月行事予定について ・意見・提言・連絡 ・給食運営会議 		

(3) 研修会の参加状況報告

1. 職員の参加状況報告

番号	期間	研 修 内 容	参加人数
1	4月12日	モニタリング研修(札幌)	1
2	5月12日～13日	日胆地区ソーシャルワーカー協会研修(苫小牧)13まで	1
3	5月14日～18日	施設実習(北湯沢リハビリセンター)18まで	1
4	5月15日～16日	新人マナー研修(札幌)16まで	1
5	6月4日～6日	グループホーム開設者研修(札幌)6まで	1
6	6月6日	日胆地区老協研究大会(苫小牧)	3
7	6月13日～14日	新任介護職員研修(札幌)14まで	2
8	6月15日	介護記録研修会(札幌)	1
9	6月18日	グループホーム開設者研修施設実習(ふきのとう)	1
10	6月20日	介護職員専門研修I(札幌)	1
11	6月21日	介護支援専門員学習会(苫小牧)	3
12	6月26日	算定基礎研修会(苫小牧)	2
13	7月10日～11日	経理事務専門研修(札幌)11日まで	3
14	7月19日	調理従事者研修(苫小牧)	1
15	8月2日	給食施設栄養士研修会(苫小牧)	1
16	8月16日～17日	介護職員専門研修II(札幌)17日まで	1
17	8月21日～24日	認知症介護実践者研修(苫小牧)24日まで	2
18	8月28日	防災講演会(四季の館)	6
19	8月30日～31日	新任施設相談員研修(札幌)31日まで	1
20	8月30日	地域ケア実務者研修	6
21	9月3日	虐待防止推進研修会(札幌)	2
22	9月7日	たん吸引等指導者研修(札幌)	1
23	9月12日	認知症介護実践者研修報告会(苫小牧)	2
24	9月12日～19日	介護職員等のたん吸引等研修(札幌)19まで	1
25	9月13日	看護師専門研修(札幌)	1
26	9月22日～23日	介護職員等のたん吸引等研修(札幌)23まで	1
27	10月12日	新会計基準研修会(札幌)	1
28	10月15日	たん吸引等試験(札幌)	1
29	10月17日	リハビリ研修会(苫小牧)	1
30	11月1日	経理取扱実務研修会(札幌)	2
31	11月7日	リスクマネジメント研修(札幌)	2
32	11月10日	栄養士会秋季研修会(苫小牧)	1
33	11月13日	新任職員研修(札幌)	1
34	11月16日	感染症予防対策研修会(苫小牧)	1

番号	期間	研 修 内 容	参加人数
35	11月20日～22日	ケアグレードアップセミナー（定山溪）22まで	1
36	1月15日	社会福祉法人新会計基準研修（札幌）	1
37	1月21日	介護支援専門員調査員研修（苫小牧）	2
38	1月24日	防火管理者講習（苫小牧）	3
39	2月15日	介護記録研修会（札幌）	1
40	2月26日～27日	胆振東部3町社会福祉施設研修会（登別）27日まで	8
41	3月7日～8日	日胆地区施設長研修会・総会（登別）8まで	1
42	3月20日	新任職員研修（口腔ケア講義）	10
			84

（４）防災体制と危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	防災器具点検	備考
4月		月1回	自主点検	
5月		月1回	自主点検	消防署立入検査
6月	避難訓練（夜間）	月1回	自主点検	
7月		月1回	自主点検	
8月		月1回	自主点検	
9月	津波避難訓練	月1回	業者点検・自主点検	ボイラー保守点検
10月	避難訓練	月1回	自主点検	
11月		月1回	自主点検	
12月		月1回	自主点検	
1月		月1回	自主点検	
2月		月1回	自主点検	ボイラー保守点検
3月		月1回	業者点検・自主点検	消防署立入検査
備考	電気設備系点検		業者点検・2カ月に1回（偶数月）	
	エレベーター点検		業者点検・月1回	
	非常食の確保（保存水、アルファ米、味噌汁、魚缶詰等9食3日分）			
	★ 緊急対応マニュアルの作成整備と活用。 ※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、理事長へ連絡体制をとる。 ※ 夜間の急変時等のときは、看護師、医師、施設長、家族へ連絡体制をとる。			

（５）苦情処理状況

※ 平成24年度は、ご家族様から2件の苦情相談がありました。職員の説明不足、配慮不足によるもので、会議等で周知、改善を図っております。

事故防止につきましては、骨折事故は減少しておりますが、転倒、転落、皮膚剥離の事故は依然として多いため、減少させていく取り組みが大きな課題となっております。

(6) 主な施設整備状況

整備日	整備・修繕内容	金額
H24. 04. 24	サンルームロールカーテン2か所更新	71,925
H24. 04. 24	ソファベッド2台	61,940
H24. 04. 24	ダストカート3台更新	60,217
H24. 05. 31	スイングアーム介助バー15台更新	470,925
H24. 05. 31	厨房食器棚の更新	310,800
H24. 05. 31	包丁俎板殺菌庫の更新	393,750
H24. 05. 31	フードプロセッサの更新	119,700
H24. 05. 31	サンルーム流し台の修繕	399,000
H24. 06. 15	食堂テーブル脚部の交換14台	1,593,900
H24. 08. 31	排煙窓の開閉修繕	1,157,625
H24. 08. 31	1階旧館ホール結露防止ガラスへ交換	1,433,250
H24. 08. 31	2階新館非常口片開き窓取付	242,550
H24. 09. 10	ちょうじゅサーバー更新	892,500
H24. 09. 30	旧館西側階段室結露修繕	771,750
H24. 10. 24	非常用照明バッテリー交換	168,315
H24. 11. 19	車椅子入浴装置の更新	11,319,000
H24. 12. 26	ガス立体炊飯器の更新	426,300
H25. 01. 30	冷凍冷蔵庫の更新	787,500
	合計	20,680,947

(7) 利用者の構成とその状況

1. 在籍入所者

男性 17 名 女性 63 名

平成 25 年 3 月 31 日現在

胆振総合振興局									
むかわ町		厚真町		安平町		苫小牧市		白老町	
69名		2名		1名		4名		1名	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
15	54	0	2	1	0	0	4	0	1

日高振興局				十勝総合振興局	
日高町		新ひだか町		幕別町	
1名		1名		1名	
男	女	男	女	男	女
1	0	0	1	0	1

2. 年齢別状況

平成 25 年 3 月 31 日現在

区分	60～69	70～79	80～89	90～99	100 以上	合計	平均年齢
男	0	5	7	5		17	84.0
女	0	10	22	29	2	63	87.4
合計	0	15	29	34	2	80	86.5

3. 在苑期間

平成 25 年 3 月 31 日現在

区 分	6 月未満	1 年未満	1～3 年	3～5 年	5～10 年	10 年以上	合計	平均期間
男	2	3	5	2	3	2	17	3 年 8 か月
女	8	1	18	16	16	4	63	4 年 0 か月
合計	10	4	23	18	19	6	80	3 年 11 か月

4. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成 25 年 3 月 31 日現在

要介護度	なし	ランク I	ランク II	ランク III	ランク IV	ランク M	合計
要介護 1			2				2
要介護 2		1	2	4			7
要介護 3			8	5	2		15
要介護 4			7	17	3		27
要介護 5			4	7	18		29
合計	0	1	23	34	22	0	80

5. 月別利用者状況

平成24年4月1日～平成25年3月31日

月別 区分	入所	退所			入院 外泊	入所者数	延利用日数
		死亡退所	長期入院	家庭へ			
平成24年4月					8	80	2,392
5月	1	1			80	81	2,392
6月	2	1	1		153	82	2,230
7月					87	80	2,393
8月					81	80	2,399
9月	1	1			106	81	2,293
10月	3	1	3		124	83	2,330
11月	2		2		117	81	2,252
12月	3	1	1	1	130	83	2,330
平成25年1月					71	80	2,409
2月	1	1			108	81	2,114
3月	1	1	1		93	81	2,379
合計	15	7	8	1	1,158	973	27,913

一日実利用者数76.5人(95.59%)

6. 利用者の要介護度

平成25年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要介護1	1	1	2
要介護2	1	6	7
要介護3	3	12	15
要介護4	7	20	27
要介護5	5	24	29
合計	17	63	80

(8) 在宅サービスの状況

1. 短期入所生活介護

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	人数	3	1		2	1	3	1	4	2	1	2	3	23
	延べ日数	14	3		8	2	29	3	20	10	8	19	25	141
要介護 2	人数	3	2	4	5	3	1	3	3	2	1	1	5	33
	延べ日数	16	16	26	29	24	10	24	17	10	11	9	30	222
要介護 3	人数	2	3	2	2	2	4	6	3	3	2	4	3	36
	延べ日数	34	46	47	41	29	34	48	12	19	29	38	28	405
要介護 4	人数	1	2	2	2	3	3	3	1	1		2	1	21
	延べ日数	11	23	28	21	38	39	23	10	8		7	22	230
要介護 5	人数	1	1	2	2	2	3	3	3	2	1		1	22
	延べ日数	6	30	30	21	20	57	42	42	29	10		11	298
合計	人数	10	9	10	13	11	14	16	14	11	5	9	13	135
	延べ日数	81	118	131	120	113	169	140	101	76	58	73	116	1296

2. 介護予防短期入所生活介護

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	人数													
	延べ日数													
要支援 2	人数						1			1	1	1	1	5
	延べ日数						2			6	10	9	10	37
合計	人数						1			1	1	1	1	5
	延べ日数						2			6	10	9	10	37

3. むかわ町高齢者等生活支援短期入所生活介護

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	人数													
	延べ日数													
要介護 2	人数													
	延べ日数													
要介護 3	人数													
	延べ日数													
要介護 4	人数													
	延べ日数													
要介護 5	人数													
	延べ日数													
合計	人数													
	延べ日数													

(9) ボランティアの受入状況

		団体名	活動内容	回数	人数	合計
町内	団体	駒場町内会	防災訓練	1	10	10
		纏保存会	出初め式纏振り	1	5	5
		支え合い共に生きる会	ふれあい喫茶	8	6~10	64
		むかわ町商工会女性部	ソーメン寄贈	1	3	3
		鵜川ライオンズクラブ	餅つき、クリスマス会	2	1~2	3
		天理教鵜川分会	浴室清掃	1	14	14
	個人	吉田紀晃氏	華道指導	12	1	12
		塚田槇子氏、柚田英美子氏	茶道指導	10	2	20
		田中ハルエ	書道教室	20	1~2	28
		平野富枝氏、村山みゑ氏	寄り添いボランティア	13	2	26
		伊東八百子	傾聴ボランティア	12	1	12
		フルトリー08代表 中里幸道氏	器楽演奏	1	1	1
町外	団体	ビハーラ鵜川	彼岸法要、法話会、お参り	12	1~2	19
			お勤め、交流			
		苫小牧歯科健康診断協会	口腔ケア	13	1~2	23

(10) 実習生等の受入と福祉教育

将来、福祉の仕事に携わる人材を育てるために、また、施設、福祉への理解を醸成するためにも実習生の受け入れ及び介護等体験の受け入れは重要と考え当苑では積極的に取り組んで来ました。

慶寿苑においては、福祉専門学校、ヘルパー養成研修における実習、更に、小、中、高校生の体験学習等その範囲は多岐に亘り、期待されるものは大きく、常に学習し対応していく必要があります。

* 専門学校等

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
旭川福祉専門学校	2	24.06.04～24.06.30	2名	28日	施設実習
旭川福祉専門学校	2	24.10.29～24.12.01	2名	35日	施設実習
日本福祉介護教育センター		24.12.27～24.12.28	1名	2日	施設実習
ニチイ学館		25.01.07～25.01.08	2名	2日	施設実習
ニチイ学館		25.02.06～25.02.07	2名	2日	施設実習
ニチイ学館		25.02.15、25.02.18	1名	2日	施設実習
ニチイ学館		25.02.21～25.02.22	1名	2日	施設実習

* 高校

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鶴川高校	2年	24.10.11～24.10.12	2名	2日	インターンシップ
平取高校	3年	24.08.08	1名	1日	施設見学

* 中学校

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
鶴川中学校	2年	24.10.30	3名	1日	職業体験

* 小学校

学 校 名	学年	期 間	受入数	合計日数	内 容
宮戸小学校	全学年	24.09.25	23名	1日	器楽演奏等、交流
鶴川中央小学校	6年	24.11.30	60名	1日	器楽演奏等、交流

4 高齢者生活交流センターひだまりの里事業報告

(1) 高齢者共同生活住宅こごみ荘

平成24年1月1日から運営がスタートし、平成24年度実質はじめての年間を通した運営を経験しました。隣接するグループホームふきのとう、ひまわり保育園との交流行事をはじめ、少しずつ地域の方々との交流を行うことができました。

平成24年4月1日からは、利用料金の改定を行い、安定的な運営を目指したところでありますが、入居者の退去に伴う空室状態の長期化及び入院等により延べ入居日数が大きく減少したことによる収入減が運営に影響し、当期欠損を計上しました。

前年度に運転資金として法人本部より1,360,000円の繰入を行い3か月間の初年度決算時に発生した収支差額(繰越金)1,273,219円を充当した結果となりました。

今冬の寒さの厳しさから、暖房用電気料が予想以上に大きかったことから、引き続き年間を通した節電に取り組むとともに、今後予想される設備等の修繕・更新等についても、むかわ町と十分に協議をしながら今後計画的に進めていく必要があります。

また、3月16日に開催しました運営懇談会でのご意見等も踏まえ、入居者の方々に安心して暮らしていただけるようサービス向上に努めてまいります。

入居者の方々においては、介護認定を受けた方が増加し訪問通所系の介護サービスを利用される方が少なくありません。一方で昨年末に町内の訪問介護事業所が休止となり、訪問サービス利用の幅が小さくなりました。状況を見ながら担当ケアマネ、むかわ町と連携を図りながらこごみ荘での生活が継続できるように、ご家族ともご相談させていただきながら進めてまいります。

今後、常時介護が必要になった場合の他施設等への住み替えにつきましても、入居者個々の状況をしっかりと捉え担当ケアマネ、むかわ町、ご家族と連携を図りながら早めに対応することが重要です。

平成24年度の決算を踏まえ、空室期間を最小限に抑えられるよう、広報活動による入居の募集を継続し入居待機者の拡大を図ることが運営上重要な課題となっています。

1. 年齢別状況

平成25年3月31日現在

区分	むかわ町	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男	5	2	3		5	79.8
女	14	4	5	5	14	85.6
合計	19	6	8	5	19	84.1

2. 入居期間

平成25年3月31日現在

区分	6月未満	1年未満	1～3年	3～5年	5年以上	合計	平均期間
男	1	1	1	1	1	5	2年9ヵ月
女	3	1	3	3	4	14	3年1ヵ月
合計	4	2	4	4	5	19	3年1ヵ月

3. 月別入居者状況

平成24年4月1日～平成25年3月31日

月別 区分	入居	退居			入院 外泊等	入居者数	延入居日数
		他施設	入院	家庭			
平成24年4月					12	20	588
5月	1	1			38	20	575
6月					24	20	576
7月		1			51	20	562
8月					51	19	538
9月	1	1			45	19	538
10月	1	2			34	20	568
11月					27	18	513
12月					14	18	513
平成25年1月					65	18	493
2月	2	1			65	20	435
3月			1		61	19	528
合計	5	6	1		487	231	6,427

一日実利用者数17.6人(88.04%)

4. 入居者の要介護度

平成25年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
自立	4	5	9
要支援1		2	2
要支援2		4	4
要介護1	1	2	3
要介護2			
要介護3			
要介護4			
要介護5		1	1
合計	5	14	19

5. 移動販売等

- ①船山商店(毎週木曜日)
- ②苫小牧ヤクルト(毎週月曜日)
- ③カクサダクリーニング(毎週火曜日)

(2) 交流広場

交流広場は地域の方々及び各種団体等に定期的且つ有効に活用されています。

1. 定期的利用

- ①田浦スポーツクラブ（毎週金曜日夜間） 1回当たり10名前後
- ②空手クラブ最強塾（毎週火曜日夜間） 1回当たり15名前後（11月より中止）

2. その他

- ①ジュニアファイターズ
- ②田浦子供会

(3) 高齢者グループホームふきのとう

高齢者グループホームふきのとう開設に向け早目の求人活動が功を奏し、早い段階での業界経験者等を確保することができました。また、特養からの人事異動者についても早めに内示したことにより、他施設研修を含む準備期間に余裕を持って平成25年4月1日スタートすることができました。

定期的な研修(外部講師や内部・外部研修)を通し、職員資質の向上に努めてまいりましたが、個々の状況に応じた認知症ケアの知識・技術の向上を図るための研修は、今後も継続する必要があります。

高齢者グループホームふきのとうの理念「ゆったり、ゆっくり、共に生きる」を全職員が常に意識し実践することにより、徐々に心のゆとりが生まれ、心配り・気配りが見られ、利用者職員共に自然な笑顔も多くみられるようになりました。

これらを踏まえ、高齢者グループホームふきのとうのサービス内容について、職員全員で自己評価を行い、改善すべき課題を見つけることができたことは、次年度以降に向け大きな成果となりました。

安らぐことが出来る環境作りや我が家と思われるホームを目指して一層努力していきます。

1. 在籍入居者

平成25年3月31日現在

区分	～69	70～79	80～89	90～99	合計	平均年齢
男			1		1	82.0
女		1	4	3	8	84.5
合計		1	5	3	9	84.2

2. 入居期間調

平成25年3月31日現在

区分	1年未満	1年～	合計	平均期間
男		1	1	1年0ヵ月
女	7	1	8	0年9ヵ月
合計	7	2	9	0年9ヵ月

3. 介護度別認知症高齢者日常生活自立度

平成25年3月31日現在

要介護度等	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
要支援1						
要支援2						
要介護1			3	1		4
要介護2		2	3			5
要介護3						
要介護4						
要介護5						
合計		2	6	1		9

4. 月別入居者状況調

平成24年4月1日～平成25年3月31日

月別 区分	入居	退居			入院 外泊	入居者数	延利用日数
		他施設	入院	家庭			
平成24年4月	5					5	138
5月	3					8	186
6月	1					9	269
7月					3	9	276
8月					20	9	259
9月					20	9	250
10月						9	279
11月						9	270
12月					1	9	278
平成25年1月					1	9	278
2月						9	252
3月					21	9	258
合計	9				66	103	2,993

一日実利用者数8.2人(91.1%)

5. 入居者の要介護度調

平成24年3月31日現在

要介護度	男性	女性	計
要支援1			
要支援2			
要介護1		4	4
要介護2	1	4	5
要介護3			
要介護4			
要介護5			
合計	1	8	9

6. 職員の資質向上

①職員会議の状況

ケア会議の開催	12回	月1回定例開催
スタッフ会議の開催	12回	月1回定例開催

②内部研修の状況（スタッフ会議）

4月	慶寿苑職員全体会議参加	7名	10月	身体拘束と虐待防止について	8名
	事業計画・収支予算・個人情報 緊急対応、事故マニュアル周知	8名		成年後見制度と権利擁護 サービス自己評価について	
5月	入居者・職員の健康について	8名	11月	運営状況（上半期）について	8名
6月	認知症の支援について	9名		感染症防止について	
7月	食中毒防止・衛星管理について	7名	12月	リスクマネジメント	6名
8月	センター方式について	6名	1月	H25年度年間行事・職員研修	7名
9月	入居者のモニタリング総括	6名	2月	次年度に向けて要望・提言	7名
			3月	預り金規程、サービス自己評価	6名

※5月外部講師、6月外部講師

③外部研修の参加状況

番号	期間	研修内容	参加人数
1	6月4日～6日	認知症対応型サービス事業開設者研修(札幌市)	1名
2	6月18日	認知症対応型サービス事業開設者研修施設実習	1名
3	7月3日～4日	介護支援専門員専門研修Ⅰ(札幌市)	1名
4	7月11日	介護支援専門員専門研修Ⅰ(札幌市)	1名
5	7月18日	日胆地区ブロック研修(苫小牧市)	1名
6	8月30日	地域ケア実務者研修(むかわ町)	2名
7	8月31日～9月1日	全国研修大会 in 北海道(札幌)	2名
8	9月13日	介護支援専門員専門研修Ⅰ(札幌市)	1名
9	10月27日	事例発表北海道大会(恵庭市)	2名
10	11月15日	管理者研修(札幌市)	1名
11	11月16日	感染症予防対策研修会(苫小牧市)	2名
12	11月29日	日胆ブロック研修(苫小牧市)	4名
13	12月4日～7日	介護支援専門員実務従事者研修(札幌市)	1名
14	1月24日	防火管理者講習会(苫小牧市)	1名
15	2月12日～14日	介護支援専門員実務者研修(札幌市)	1名
16	3月13日～15日	介護支援専門員実務者研修(札幌市)	1名
			23名

④自主研修

認知症介護リーダー研修 1名

10月23日～26日、11月6日～9日（苫小牧市）

11月12日～14日（外部施設実習：安平町 グループホームふるさとおいわけ）

12月17日（苫小牧市）

7. 健康・衛生管理

- ①利用者一人ひとりの健康状態について把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めてまいりました。
- ②利用者、職員、来訪者に対し、手洗いやうがいの励行を周知し、様々な感染症の感染拡大防止ができました。
- ③利用者の状態に急変が生じた場合には、速やかに主治医や協力医療機関、家族に連絡を行うとともに、適切な対応ができました。

8. 危機管理体制

	内容	ホットラインテスト	備考
4月		月1回	
5月			
6月		月1回	
7月	避難訓練（日中）	月1回	
8月		月1回	自主避難訓練（日中想定）
9月		月1回	防災無線取付
10月	避難訓練（夜間）	月1回	自主避難訓練（日中想定）
11月		月1回	自主訓練（夜間想定）
12月		月1回	
1月		月1回	自主避難（日中想定）
2月		月1回	
3月		月1回	自主避難訓練（職員が入居者役として）
備考	<p>★ 緊急対応マニュアルの作成整備と活用。</p> <p>※ 災害時は、連絡網による連絡、家族、管理者へ連絡体制をとる。</p> <p>※ 夜間の急変時等のときは、管理者、協力医療機関、家族へ連絡体制をとる。</p>		

9. ご家族・地域との連携

①運営推進会議の開催状況

期日	協議内容
24. 6.22	委嘱状交付式、運営推進会議とは運営推進会議要綱について、地域住民との協力について、ふきのとう近況報告
24. 8.26	ふきのとうでの近況報告、防火マニュアル作成について、意見・提言・連絡、交流会（田浦1区2区両自治会参加）
24. 10.30	夜間消防訓練実施（田浦1区2区両自治会の協力）、消防訓練実施についての反省・改善点、地域住民との協力について、意見・提言・連絡
24. 12.18	ひまわり保育所と高齢者共同住宅ごみ荘とのクリスマス交流会（ごみ荘にて）、意見・提言・連絡
25. 3.29	平成24年度 活動報告、苦情及び事故報告、平成25年度 事業計画、平成25年度 預り金規程報告、意見・提言・連絡

②ボランティア等来訪者の状況

	年月日	内容	適用
1	24. 4. 9	むかわ町職員見学	4名
2	24. 4. 13	厚真町社協職員見学	4名
3	24. 4. 27	田浦1区・2区自治会長見学	2名
4	24. 5. 9	ひまわり保育園園児来苑	
5	24. 5. 21	むかわ町議会常任委員会、議会事務局職員見学	15名
6	24. 6. 28	むかわ町介護者と共に歩む会見学	10名
7	24. 8. 20	役場OB健康を守る会見学	8名
8	24. 10. 2	GH調査員見学	4名
9	24. 11. 9	民生委員視察研修	6名
10	25. 1. 4	消防団纏	
11	25. 2. 10	そば打ちボランティア	笑屋
12	25. 3. 5	消防査察	振興局1名、役場1名 消防1名

10. 広報活動について

- ①ふきのとう通信 10回（6月から）
- ②近況報告 3か月に1回

11. 相談・苦情の状況

平成24年度は、ご家族様からの1件の苦情相談がありました。入居者検討会議（役場：地域包括支援センター出席）にて入居に対する疑問点について話し合いが行われました。入居の条件等についての説明不足の感もあり、ご家族等に対しわかりやすく説明することの重要性を再認識することができました。内容につきましては、第三者委員会並びに運営推進会議にて報告させていただきましたが、日ごろから信頼関係構築に職員一同努力していく必要があります。

1年間の間に、転倒骨折事故が2件発生しました。高齢者の骨折は、入院期間が長期化し、廃用症候群を伴い著しいADLの低下が起こります。このことにより、認知症状が進行し、要介護状態が悪化していきます。一方運営上においても、介護報酬が大きく減額となり経営を圧迫します。事故防止は運営上においても重要な課題といえます。